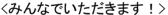
2018年3月29日 記入日: 団体名称 認定NPO法人NEXTEP 不登校児等サポートを目的とした 活動名 子どもの健全な育成を支援する活動 活動テーマ 農作業体験 · 勉強会事業 活動の目的 ①不登校・ひきこもり・社会的自立支援活動 ■申請書のスケジュール ■申請書の活動概要<150~200字> ■各スケジュールごとの活動内容 フィールド活動は、自然体験プログラムです。大学生・社 2017年9月 2017年9月 会人スタッフが小学生の不登校児及び保護者を対象に月1 イチゴ・冬野菜の植付け、栗ご飯・豚汁・野菜の炒め物、 回活動を実施しており、野菜の植え付け、収穫、昼食作り、 2017年10月 科学工作遊び 後片付けまで協力して行います。 2017年11月 2017年10月:天候不良により、2回の延期を経て中止 2017年11月 保護者に対しては「勉強会・親の会」を実施しています サツマイモ・里芋の収穫、たこ飯・焼きサンマ・味噌汁、 「勉強会・親の会」は、不登校の保護者のサポートを目的と 2017年12月 して、①勉強会:不登校問題に取組んでいる講師を招いた 焼き芋 2018年1月 勉強会②親の会:農作業体験参加者の親による意見交換 2018年2月 2017年12月:もちつき 会。 2018年1月:天候不良により、2回の延期を経て中止 2018年2月: 定期参加者の都合により、3月に延期 全ての子どもたちが希望を持って成長し、輝くことができる社会 ■活動目標 長期成果としては子どもたちが成長し、社会の中で自立することです。子どもたちが活動の中で大小様々な達成感を得るこ

■活動風景

■長期成果







とを通して「責任感」「協調性」等を醸成。コミュニケーション能力や、社会に出ることに希望を感じられる人に成長してもらい

<いちごの植付け>



〈もちつきの様子〉

■上期の成果と下半期に向けた改善点

たいと考えています。

〈上半期の成果〉

半期登録を頂いて継続参加をしている子ども達は、参加当初はなかなか車から降りられなかったり、保護者から離れなかったりと、活動の輪に入ることが難しい状況でした。しかし、回数を重ねるごとにスタッフとの信頼関係もでき、活動の輪に入りやすくなり、スタッフとふざけあう事も出来るようになりました。

運営スタッフも、最初はコミュニケーションが難しいと感じていた子ども 達と信頼関係が出来てくるなかで、今までは見せてくれなかった感情表 現が出てきました。それを受けて、保護者やスタッフも子ども達の成長 を感じることが出来ています。

また、活動プログラムの中で、子ども達にとって今まで経験したことが無い内容が組み込まれる事で、初挑戦への不安と闘いながらも、スタッフのフォローを受けることによってプログラムを達成する成功体験が得られています。

〈下半期に向けた改善点〉

下半期に向けて、子ども達とは新しいプログラムを継続して導入することで、新鮮な体験を積み重ねていきたいと思います。

下半期の活動時期には、野菜や果実などの収穫が多く見込まれます。そこで、活動場所である畑の整備、充実を目的として、畑に散水設備の設置を行います。充分な灌水を行う事で、収穫量を増やし、収穫できる喜びを得ると同時に、収穫物を用いて加工体験を行いたいと考えています。

■実施体制

スタッフ体制

社会人20名(会社員、医師、教員) 学生3名(医学部、文学部)

協力者(農業指導):南花園/本田様、宮下農園/宮下様畑提供/管理:城様

〒 861-1112

(住所)熊本県合志市幾久富1123-5 (団体名)認定NPO法人NEXTEP

(ホームページ) : http://www.nextep-k.com/

助成金額 500,000円

助成期間

H29.9.1~H30.8.31

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。